

1 国語について

全国と松山市の調査結果を比較すると、平均正答率は、ほぼ同じ状況でした。

学習指導要領に示されている「知識及び技能」の領域は全国平均とほぼ同じ状況でした。「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域はほぼ同じ状況であり、「書くこと」の領域はやや上回る状況でした。

2 分析結果から特徴が見られた問題

The image contains three parts related to the survey questions:

- 問題2-3-ア:** A 10x10 grid for writing an answer. Below it, the question text reads: "三 高山さんは「高山さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた漢字を書き直すことにしました。次の「部ア」イを漢字で正しいに書きましょう。" Two boxes are provided: the first for the character "きょうご" and the second for the character "上げる".
- 問題3-1:** A list of four options: 1 もやが, 2 そして, 3 果は, 4 まぶしく.
- 問題3-3:** A text passage about Onigumojii-san and a girl named Hae. A question box asks: "オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところが心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさが表れていると思ったからです。(100字) 全国の正答率 72.6% 松山市の正答率 全国平均を大きく上回る".

2-3-ア

正答 競技

全国の正答率 43.4% 松山市の正答率 全国の正答率を大きく下回る。

3-1

正答 3

全国の正答率 62.3% 松山市の正答率 全国の正答率とほぼ同じ

3-3

正答例

オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところが心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさが表れていると思ったからです。

(100字)

全国の正答率 72.6% 松山市の正答率 全国平均を大きく上回る

3 考察

2-3-アは、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題です。無解答率・誤答率ともに全国平均を上回りました。

3-1は、文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題です。主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することが求められます。1の「もやが」と解答した児童の割合が全国平均より高く、主語を形式的に判別していて、文の構成を理解した上で、主語と述語との関係を捉えることができていない児童が多いと考えられます。

3-3は、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる問題です。【物語】を読んで、心に残ったところと心に残った理由を、【物語】から言葉や文を取り上げて、60字以上、100字以内で書くことができた児童が全国平均を大きく上回りました。

4 これからの学習にあたって

物語などを読み、登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、登場人物の相互関係などを手掛かりにして、性格や考え方などを総合して判断することが重要です。また、文章の内容を理解したり表現したりする場合には、文の中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて、文がどのように組み立てられているかを理解することが大切です。